

## 令和4年度 第2回地域包括支援センター運営協議会 会議要旨

開催日時：令和5年3月10日(金)13:30～15:20

開催場所：多治見市総合福祉センター 4階大会議室

出席委員：山田隆司委員、後藤達彦委員、井澤賢禄委員、加藤元子委員、樋田安美委員、山田佐夜子委員、和田幸恵委員、加藤英治委員、長江一鶴代委員、櫻井きよみ委員

事務局：加藤福祉部長、加藤高齢福祉課長、大中博、丹羽智裕、三宅かおり、前原友美、包括支援センター(高木浩二、国立美保、近藤加代美、関谷早苗、高橋加代子、水野千鶴子、棚瀬民依)

資料：令和4年度事業報告【資料1、2】

令和5年度事業計画(案)及び事業予算(案)【資料3、4、5】

令和5年度介護予防マネジメント業務委託事業所(案)【資料6】

### －会議要旨－

#### 1. 部長挨拶

地域包括支援センター(以下、包括とする)は地域包括システムの中核機関として、市民の生活を支えている。近年、支援する事案が複雑化、深刻化、多様化している為、今年度より困難事例担当者1名配置し各包括と連携し、支援体制が強化することを期待しております。本日は今年度の活動、次年度の計画についてご意見、ご助言をいただきたい。

#### 2. 議事

(1)令和4年度事業報告 <事務局> 資料1、2に基づき説明

<会長> 以上の説明について、何かご質問やご意見はありますか。

<委員> 困難事例対応件数はわかったが、どの様なケースが多いのか。これまでに51件のケースがある中で、解決した件数、1件当たりの支援回数ほどどれくらいあるのか。

<包括> ケースとしては、8050または9060問題、独居や高齢者世帯、介護力・経済力の無い家庭が多い。51件のケースで15件が終結(対象者の死亡も含む)しており、支援回数は少ないと2、3回、多いと20回を超えるケースもある。

<会長> 他にご意見が無いので事業報告について了承します。今回は年度途中の報告であるため、4年度の報告は次回の会議でさせていただきます。

(2)令和5年度 事業計画(案)及び事業予算(案) <事務局> 資料3、4、5に基づいて説明

<会長> 以上の説明について、何かご質問やご意見はありますか。

<委員> 各包括とも地道に頑張っていると思うが、その活動は見えづらい。市から予算を取ってどんどん活動をして欲しい。6包括が合同でイベントを開催するなど新しいことを試みてはどうか。認知症施策についてもまだまだ知られていない。市民に向けてPRをしていくことが重要。

<委員> 包括の支援は対市民だけではない。対病院や福祉施設の支援の中で、最近身元引受人がいないケースが入院、入所できない問題も多い。包括としても対応を考えていただきたい。

<会長> 他にご意見が無いので令和5年度事業計画及び事業予算について了承します。

(3) 令和5年度介護予防マネジメント業務委託事業所(案) <事務局> 資料6 に基づいて説明

<会 長> 以上の説明について、何かご質問はありますか。

<委 員> 質問、意見なし

<会 長> ご意見が無いので令和5年度介護予防マネジメント業務委託事業所について了承します。

<会 長> 全体を通して何かご意見はありますか。

<委員> 以前と思うと介護サービスは充実してきていると感じる。チームオレンジが地域での支援として始まっているが、各校区で整備されることを期待したい。

<委員> 6 包括が共通した課題に向けて、一緒に活動していくことも大切なことだと思う。

また、チームオレンジの立ち上げが困難であるようだが、支障となっていることについて突き詰めて考察をすることも必要ではないか。

<委員> 市民にとって断らない相談窓口は素晴らしいことだと思う。今年から休日対応を始めての状況はどうだったのか

<事務局> 始めたのは相談窓口としてではなく、電話による緊急対応のみである。市へ入る緊急の通報としては 20 件ほどあり、12 月までに北栄包括と 1 件対応している。

<会 長> それでは本日の議事は終了しました。以上をもって第2回の会議は終了します。